

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域ブランド「南信州果実酒バレー」の発信
事業主体 (連絡先)	松川町
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 イ 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,375,922 円

事業内容

- ①南信州シードルテイastingセミナー 2018.2/16 ソムリエによる講座
- ②講演会 2017.6/5「世界に伝えたい、日本の魅力・地域の魅力」
- ③銀座NAGANO・首都圏ショーウィンドー・大阪でのシードルPR
- ④南信州シードルパンフレット作成 2種類
- ⑤まっふるへの広告掲載 1ページ
- ⑥アンケートの実施。松川町への来客者へ実施。



【南信州シードルテイastingセミナーの様子】

【目標・ねらい】

事業効果

- ①生産者が表現を学ぶことにより、より分かりやすい表現でお客様に伝えられるようになりました。またソムリエに味を表現してもらったことで、味に自信が持てました。
- ②多くの地域住民の方に参加していただき、地域の隠れたものや、人が宝だとお話していただき、共感していただきました。
- ③首都圏、大阪でのPRで、松川町のシードルを知っていただく機会となりました。注文の増加になっています。
- ④シードルを知っていただくのに大切なツールとしてのパンフレットが出来上がりました。見て足を運んでいただくきっかけになればと思います。
- ⑤長野県版の1ページ、南信州の後ページへ掲載。伊那谷に興味を持ってもらえるページとなりました。
- ⑥お客様の考えを分析するためにも今後も実施していきます。

- ①地域独自の果実酒を使った飲食文化を、南信州地域全体に広める。
- ②付加価値の高い果実酒の販売額を増加させる。
- ③魅力的な果実酒文化を発信し、観光・交流人口を増加させる。

※自己評価【B】

【理由】

酒販免許を取得し、販売する農家が1年間で倍増しています。シードルの取り込みをすることで農家が生き残っていける道を模索しています。多くの方にシードルのことを知ってもらい南信州へ足を運んでもらいたいです。

今後の取り組み

「南信州シードル」ブランドを全国。全世界に発信して認知度を上げていきます。地域の連携により、各種小規模イベントの相互協力を行います。需要振興に努めるとともに勉強会等による協会会員のスキルアップや農作業の共同化、省力化のためのシステムの構築を考えます。南信州にすれば、シードルのことはほとんどわかるというレベルにまで引き上げていきます。シードル関係者が生き活きと自信と誇りをもつてりんごを育み、シードルを醸造してそのシードルを消費者に喜んでもらいながら提供することを考え続けるための場を作っていきます。